

気持ち新たに…U-12 開幕

長岡JFC
スプリング
カップ

GW後半の五月三日、四日、パナソニック草津グラウンドでJFCスプリング杯が開催された。JFCはJ・Neoの2チームでエントリーし、全8チームが半分に分かれて予選が行われた。その結果、チームJがグループ二位通過、チームNeoは三位通過で初日を終えた。

大会二日目。気持ちを入れ替えて決戦にのぞんだJFC。チームJは初戦の相手・西陣中央に総力戦で挑んだものの、あと少しのところまで惜敗した。しかし、続く二試合を確実に勝ちとり、上位リーグで準備勝を果した。

一方、チームNeoは二戦目の梅美台に逆転を許したが、終了間際に同点に追いつく粘りを見せた。他の二試合を勝ち抜いたNeoは下位リーグを優勝で締めくくり、敢闘賞を受賞した。



強くなれーJFCのイレブン



新生チーム、公式戦デビュー
六年生になり、従来のJ・Neoに加えて新たに2チームが編成された。それぞれ、アシスタントコーチの名前のイニシャルがチーム名となり、四月から本格始動することになった。その初陣は…

『丹の国少年大会』

チームRが出場。まだんとは違うメンバーにもかかわらず、見事準備勝に輝き、上々のすべり出しを見た。(Rチームのみなさんへ…掲載する写真がありません。ごめんください)

『修育スプリング杯』
選手二名が韓国遠征で欠場し、ベストメンバーでのぞめなかったチームK。次はきつと、みんなの笑顔が見られるはず！(木崎コーチ：体調を崩され辛い状況での指導お疲れさまでした)



円陣も新たに…

Xシステム

以前「アンビリバボー」で取り上げられていたが、人間の脳には意識せず反射的に行動させるシステムがあり、それによって「奇跡」と言われる力を生み出すことができるそうです。リオネル・ Messi選手もプレーにも見られるように、人間が本来持っている「反射的に反応する脳」を『Xシステム』を発揮するのは特にサッカー選手に多く、その力は鍛えることが可能だそうです。これまでの様ざまな大会においても、思わず息を呑むほど圧倒されるような劇的な場面がいくつもありました。その中には、Xシステムによってもたらされたプレーも数多くあったことでしょう。「奇跡の動き」を引き出せるプレーができるよう、選手たちが練習を積み重ね、一つ一つのプレーに意識を向ける…チームでの連携を確立する一方で、個々のレベルを上げることもまた必要だと改めて実感します。

関西大会優勝の瞬間、思わず体が反応し、理性もどっぴんと飛び跳ねていました。これも、ひょっとしてXシステム？(違うかー)